令和２年度香川県経営・生産対策に係る事業評価委員会議事概要

１　開 催 日 時　　令和２年９月10日(木)　14:00～16:10

２　開 催 場 所　　香川県庁本館12階第１・２会議室

３　出　席　者

(委　員) 板野利信、谷本小百合、向原佳代子、武藤幸雄

(敬称略、50音順)　　以上４名出席

(事務局ほか)尾室農政水産部次長、岡崎農業生産流通課長、森農業生産流通課長補佐

ほか課内関係者

４　会議の内容

1)　開会

2)　議題

事業評価委員会設置要領について

産地生産基盤パワーアップ事業について

農畜産物輸出拡大施設整備事業について

香川県単独県費補助事業の実績等について

3)　閉会

５　議事の概要　　次ページ参照

進行内容	事項	発言内容
開会	事務局	ただ今から「令和２年度香川県経営・生産対策に係る事業評価委員会」を開会いたします。また、本日は久保田委員が、急用にて御欠席されておりますことを報告いたします。 開会にあたりまして、尾室農政水産部次長からご挨拶を申し上げます。
	農政水産部次長	（次長挨拶）
	事務局	協議事項に入ります前に、委員長につきましては、昨年度から武藤委員にお願いしております。今年度も引き続きお願いしたいと思います。 それでは、武藤委員長から御挨拶をお願いしますとともに、今後の議事進行をお願いいたします。
	委員長	（委員長挨拶） それでは、協議事項に入ります前に、「委員会の公開について」事務局から説明をお願いします。
	事務局	本日の委員会につきましては、傍聴を希望される方がいらっしゃいませんので、次第の５ページにあります、委員会の公開に関する手続きを省略させていただきます。
議題①	委員長	それでは、協議事項に移りたいと思います。 まず、「事業評価委員会設置要領について」事務局より説明をお願いします。
	事務局	事業の事業名変更や廃止、新設等に伴い、要領を一部改正したことを報告します。
	委員長	ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見等がありましたら、よろしくお願いします。 意見はないようですので次に進みたいと思います。

議題②	委員長	次に、産地生産基盤パワーアップ事業の実績について、事務局より説明をお願いします。
	事務局	(資料1に基づき事務局から説明)
	委員長	ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見等がありましたら、よろしくお願いします。
	委員	平成30年度から令和元年度にかけて、レタスの生産者数と生産面積が減少しているが、農家数自体が減少したということか。
	事務局	農家数が減少した訳ではなく、レタスの単価が下落したことから、より収益性の高いブロッコリーへ作付転換したためである。
	事務局	今回の施設導入により、レタスの重量測定・選別・包装の作業が省力化され、大規模法人の要望に応えられた。また、イメージアップ戦略として、香川県産野菜のイメージキャラクターを募集するとともに、香川県産野菜の愛称を「さぬき讃ベジタブル」と定めた。こうした取組により、販売額の向上に努めていきたい。
	委員	補助事業の目標値については、変更ができないと思うが、事業実施当初から比べると、事業実施主体の責めに帰さない要因によって販売価格が大幅な安値となり、目標値を達成できていない状況である。事業を評価する際には、別の切り口から事業の効果を評価する必要もあると考える。
議題③	委員長	では、次に進みたいと思います。 「農畜産物輸出拡大施設整備事業について」事務局より説明をお願いします。
	事務局	(資料2に基づき事務局から説明)
	委員	お米の輸出は、どのような形態で行っているのか。
	事務局	輸出は、お米の入った袋を真空包装した状態で行っている。当初は業務用途として輸出する予定であったが、輸出先国からお米の品質の高さが評価され、テレビ通販にて販売された。

議題③	委員	くりや株式会社が輸出するお米は、香川県産だけで無く全国各産地のお米も含めて、輸出実績を伸ばそうとしているのか。
	事務局	くりや株式会社が輸出しているお米については、香川県産も利用されているが、社内のお米ソムリエが全国各産地から厳選したお米も含めて、輸出実績を伸ばそうと努力されている。
	委員	くりや株式会社のホームページでは、様々な価格帯や容量、品種などのお米を購入することができ、非常に利用しやすかった。海外に輸出する際にも様々な価格帯や容量、品種があることを積極的に宣伝すれば、現状を打開できるのではないか。
議題④	委員長	それでは次に進みたいと思います。「香川県単独県費補助事業の実績等に係る評価について」事務局から説明をお願いします。
	事務局	(資料3に基づき事務局から説明（本年度からの新たな取組として、生産力向上農業機械等整備事業を実施した事業実施主体から２事業実施主体を選定し、導入した機械の概要や効果について、より詳細に例示）)
	委員長	ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見、御質問等がありましたらよろしくお願いします。
	委員	令和２年度の生産力向上農業機械等整備事業実施要領等の一部改正により、事業メニューが「作付面積拡大タイプ」と「「おいでまい」高品質タイプ」のみとなった。「作付面積拡大タイプ」では、事業要件（目標）として作付面積の４ｈａ拡大が求められているが、面積拡大のハードルが少し高いように感じる。農業者からの反応はどうか。
	事務局	「作付面積拡大タイプ」の事業要件（目標）である４ｈａの作付面積拡大については、一部の農業者から要件が厳しいといった声も聞かれている。一方で補助事業を活用しても農業者の自己負担は残るため、機械を導入するからには、作付面積の拡大や機械の有効活用による収益の向上を目指していただきたいと考えている。 また、令和２年度から楽・速農業機械等導入支援事業を新設し、直進アシスト機能や収量センサー等のＩＣＴ機器が搭載された機械の導入の際の事業要件（目標）を作付面積の２ｈａ拡大としたところである。

議題④	委員	先ほどの説明で米の作付面積は減少傾向とのことであったが、野菜の作付面積の増減はどのような状況か。
	事務局	野菜については、タマネギ等の重量野菜については減少が見られるが、ブロッコリー等の作付面積は増加しており、トータルの作付面積は概ね維持されている。 特にブロッコリーについては、作付面積・収穫量ともに全国上位であり、令和元年度において、作付面積は1,390haの全国２位となった。
	委員	施設園芸体質強化事業において、炭酸ガス発生装置等の環境制御機器の導入も可能となっている。この環境制御技術の農業者への普及具合はどうか。
	事務局	全国と比べると香川県は環境制御技術への認識や普及が進んでいない状況である。一方で、若手農業者を中心に環境制御技術の重要性が認識され、グループでの環境制御機器の導入も始まっている。県として農業者に補助事業を周知して環境制御機器の導入を支援したい。
	事務局	香川県では、各種補助事業を設けているが、事業成果が十分に農業者に伝わっていないため、事業要望があまりない事業もある。委員からの提言も踏まえて、園芸事業の優良事例集の様なものを作成して、農業者への事業内容・成果を周知していきたい。
	委員	施設園芸におけるビニールハウス等の資材費が非常に高騰し課題となっている。施設野菜生産支援事業では、ビニールハウス施工経費が補助対象となっているが、資材のみに対する補助事業はあるのか。
	事務局	県単独補助事業において、自力施工を行う場合にビニールハウス資材のみを助成する事業は設定していないが、国庫補助事業では、資材のみに助成できるものもあるので、相談があれば適宜、活用可能な補助事業の情報を提供していきたい。
	委員	盆栽を販売している事業者から、外国からの盆栽のニーズはあるが、物流がネックとなり輸出が思うようにできないといった声が聞かれる。
	事務局	盆栽の輸出は、主に船舶輸送で実施されるが、その際に利用されている温度調節機能付きコンテナが、新型コロナウイルス感染症による物流の滞留により、入手しにくくなっており、全国的な問題となっている。 鬼無・国分の盆栽については、商社を通さずに直接輸出している農業者もおり、直接取引により輸送状況も改善できると見込まれている。また、ＪＥＴＲＯとも協力して生産者と共に問題を解決していきたい。

議題④	委員	交流施設である「高松盆栽の里」については、新型コロナウイルス感染症のために、オープニングセレモニー等が実施できず残念であった。今後、リモート機器を活用して様々なイベントを実施されるのであれば、積極的な周知をお願いしたい。
	委員	盆栽については、購入後の管理が大変だというイメージがある。購入後の管理サービスが実施できれば、購入やリピーターが増えるのではないか。
	事務局	「高松盆栽の里」では、本年度、情報機器の導入を予定しており、カメラで撮影した映像の配信が可能となる。また、購入後の管理サービスについても、事業実施主体に提案していきたい。
	委員	「さぬき讃フルーツ」である「シャインマスカット」は、全国の中ではどのような位置付けとなっているのか。
	事務局	香川県における「シャインマスカット」の取り組みは、全国的に非常に早かったため、栽培技術等も確立されている状況であり、昨年度においては、岡山県と並んで全国トップクラスの販売単価であった。また、栽培面積についても平成24年度に10haであったものが、令和元年度には、20haまで拡大された。
	委員長	事務局から何かございませんか。
	事務局	本年度の新しい取り組みとして「生産力向上農業機械等整備事業」を実施した事業実施主体の中から２事業実施主体を選び、導入した機械の概要や事業の効果等を説明させていた。次年度以降もピックアップした事業の中から、同様の取り組みをさせていただきたい。
	委員	（委員の了承）
	委員長	それでは事業評価を終了したいと思います。
	事務局	本日は、長時間にわたり熱心にご検討を賜りまして、ありがとうございました。今後、委員の皆様方からの貴重な御意見や御指導などを踏まえまして、事業の効率的かつ適正な執行に努めて参りたいと存じます。 本日は誠にありがとうございました。 閉会